

大集合!! 土から生まれた仏さま

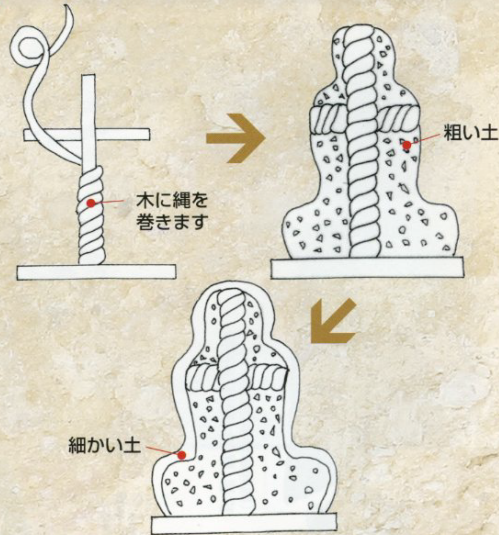
塑像と埴仏は7世紀後半から8世紀前半にかけて数多く制作されました。ともに壊れやすい土で造られるため多くは破損した状態で見つかりますが、破片から仏さまの名前や大きさを推定することができます。

復元平川廃寺の仏さま

髷は推定2m前後の菩薩像、鼻と足指は推定3m前後の菩薩像の一部と考えられます。



塑像の作り方



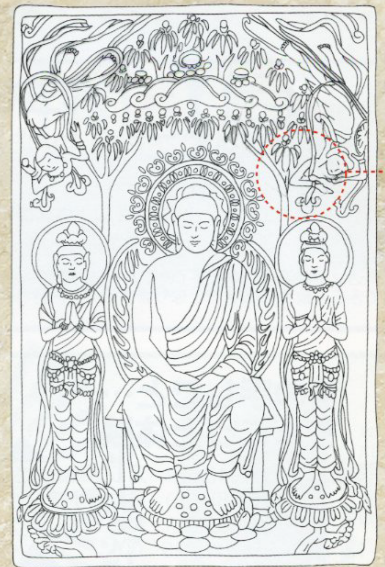
木で骨組みを作り、その上から粗い土→やや粗い土→目の細かい土の順番に盛り上げていき、彩色などを施して完成させます。



埴仏の作り方



型に粘土を押し当て焼いた後、漆箔などを施します。型から造るため同じ図像のものを製作できます。



正道廃寺埴仏復元図 (名張市教育委員会提供)

正道廃寺埴仏 (城陽市教育委員会蔵)



大山崎遺跡群埴仏 (大山崎町教育委員会蔵)



西山廃寺(足立寺跡)埴仏 (八幡市教育委員会蔵)



美濃山廃寺埴仏 (公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター蔵)

特別企画 「土の仏さまをつくらう!!」

埴仏の型からオリジナルの埴仏をつくりまます。

- 日時 平成27年2月8日(日) 13:30~15:30
- 会場 城陽市歴史民俗資料館工作室(文化パルク城陽西館4階)
- 対象 小学生以上 講師 資料館職員 定員 10名
- 参加費 材料費500円(別途入館料が必要)
- 申込 平成27年1月16日(金) 10時より電話または来館にて受付